

ただいま！



『駆逐艦 時雨』

白露型 2番艦

昭和十一年九月七日完成

昭和二十年一月二四日戦没

昭和一九年 一〇月二二日

西村艦隊の一員として、
戦艦『扶桑』戦艦『山城』航空巡洋艦『最上』駆逐艦『満潮』『朝雲』『山雲』
と共に、スリガオ海峡海戦へと出撃する

扶桑 敵の攻撃が原因で火薬庫から出火、大爆発し沈没
山城 敵の攻撃が原因で火薬庫から出火、大爆発し沈没
最上 敵の攻撃が原因で大破、操舵不能になり、味方の駆逐艦によって自沈
満潮 敵の攻撃が原因で航行不能に。その後、追撃により沈没

昭和一九年 一〇月二七日

時雨 敵の攻撃を受け中破するも、自力で出撃基地へ帰還

西村艦隊唯一の生き残りである

新しい提督が
僕の所属する鎮守府に
着任した

本日付けで着任した
〇〇です

右も左も分からぬ
未熟者ですが
誠心誠意！
尽力して参りたいと存じます
ご指導の程
お願い申し上げます

ふふ…
何だかまだ若くて
可愛いらしい
提督さんだったわね
時雨もそう思わない？

あつ…

そ…
そうだ…ですね…

あら提督

揉め事ですか？
何かあれば僕に

あらあら
そんなんじや
ないのよ
実はね…

扶桑さん

ふう…

と
と

新しい提督は
扶桑から僕の…
僕達の昔の記憶について
聞いたらしい

カ
サ
ツ
ラン半島
艦表
時雨殿

扶桑も山城も居ない…
また西村艦隊からの
出撃艦は僕だけか…
偶然…にしては
続きすぎだよな
戦艦そんなに居ないのに

提督は着任当初から
何かと僕のことを
気にかけてくれてる

自分のことだけで
手一杯だった
だろうに…

だけど
最近の提督は

お疲れ様時雨
皆無事に
帰投できて
良かったな

たくましく成長して
頼れる人になった

それに…
カツコよくなった

どうして
こんなにも
僕のことを
気にかけて
くれるんだろう

時雨
提督が
呼んでいるぞ

提督
呼んだ？

その…
答えたくない
ことだったら
答えなくて
いいんだが

ああ
急に呼び出して
ごめんな

いいよ
なんでも聞いてよ

扶桑達との
事なんだが…
やつぱりまだ
苦手か？

やつぱり
気を使って
くれてたんだ…

え…あ…

嫌いってわけじゃ
無いんだよな？

僕が扶桑たちを
嫌いだななんてっ！
それだけは
何があっても
絶対が無い！

扶桑も山城も最上も満潮も
敵に一矢報いようと
最後の最期まで凄かったよ！

ただ…僕は…
皆の役にたてなかった

皆が沈んでいく中
何も出来なかった…
それなのに

一人だけ生き延びて
皆に合わせる顔が無い…

時雨…

辛いこと話させて
ごめんね
どうしても時雨の
気持ちが届いたかったんだ

扶桑も山城も
誰一人として
時雨のことを
責めていなかったよ

むしろ
時雨だけでも
帰還できて
良かったと
言っていた

だからもう

自分を
許してあげて
くれないか



ありがとう
提督

こんなにも
僕のことを
気にかけてくれて
凄く嬉しいよ

でもどうして
僕のことだけ
こんなに…？

そんなの…
決まってる
じゃないか

時雨のことが

好きだから

カ
ア

すっ好きって！
僕駆逐艦だよ！？
人間じゃないよ！？

分かってるよ
でも

好きなものは
好きなんだから
しょうがない
で
しょ！

提督が僕のことを

ちゅう

こういう意味で
本当に
好きなんだ

好き……？

時雨！？

どうしよう……
すごい嬉しい

こっ
こんな事
されたら

それは違うよ提督

勘違い……？

ん
幾ら俺でも
勘違いして……
はあ

好きなんて
急に言われても
困っちゃうよね
ごめんね

提督：

ニニニ
僕の気持ち
全部
伝わった？

はい
///



おっひふて
あふお
はひゆれひやいそう
らよ

っ：
啜えられながら
喋られると：
やばっ：

提督は
こんなところまで
たくましいんだね

んっ：
しえんふ
ほめえられひやくて
めんね





わぶっ！
急に動いちゃ！
けほっ！
んぷはあ…っ
提督出しすぎだよ

ねえ
僕 上手に
出来た？
気持よかった？



っ…
そんなこと
言われたら…！

んんっ！
へーほく
いきそう？
いいひよ
ほのまま

さ 流石に
そこまで
させるわけにわ…



勿論だよ
それに
提督の舐めてたら

僕のこころ
こんなことにな
つちやった



最高でした…！

本当！
良かった！

ねえ 提督
次は…

僕も一緒に
気持よく
シて欲しい



し 時雨！？
それは
意味が
判ってて
言ってる？



煽る時雨が
俺だつたよ
提督の前
俺の男
なんだから

酷い提督
に挿れて
初めて
僕急ぎな
に

提督はもつと
自分的に
凄く大きい
知るべきだ

俺のが
大きいんじや
なくて
時雨が
小さいんだよ



下着は
無き方が
動きやす

やっぱり
煽る時雨
が悪い

こんなに
濡れてる
提督と
してる

ほら
ちよつと
押し込
奥まで

に濡れて
下着も
無かつた

提督に
なんだ





提督：
出しすぎ

時雨が
可愛いのが
悪いんだ！

ん…
水…？

ってえええ

時雨！

何で泣いて！

どこか

痛むか！

ち：違っ
提督の寝顔を
見てたら

幸せだなって
気持ちがいっぱい
出てきて

幸せすぎて
涙が
止まらないんだ

ぽろ

提督の体温とか
僕の中に出された
熱さとかを
感じていたら

ああ
今僕は生きてる
提督と生きてるんだ
って実感した

そうしたら
提督は人間だから
僕より先に
逝ってしまっただ
って…思っ

て
急にそれが
凄く怖くなった

さよならが
怖いなんて
おかしいよね
僕…駆逐艦なのに

だけど…怖いけど
その時が来るまで
提督と
一緒に居たい



僕
提督のこと
こんなに
好きだったんだね

提督と最初のちゅー
した時より
何倍も…何十倍も
今

提督のことが
好き

いつか提督が
お爺ちゃんになって
その時が来て

時雨…
ごめんな…

人間でごめん

他の皆が提督のこと
忘れちゃっても





僕だけはずっと

覚えてるから



過去じゃなくて
今をちゃんと
見なきゃ!!

あ
やっと来た!!!

っ!!!



提督が
絶対に大丈夫
って言うてたから
大丈夫!!



2013年10月6日発行

『ただいま』

ぴよぷろじえくと、

/羽鳥ぴよこ

<http://piyopro.com>

@hatori_piyoko

スズトウシャドウ印刷 様

Special Thanks!

蓬莱みかみちゃん

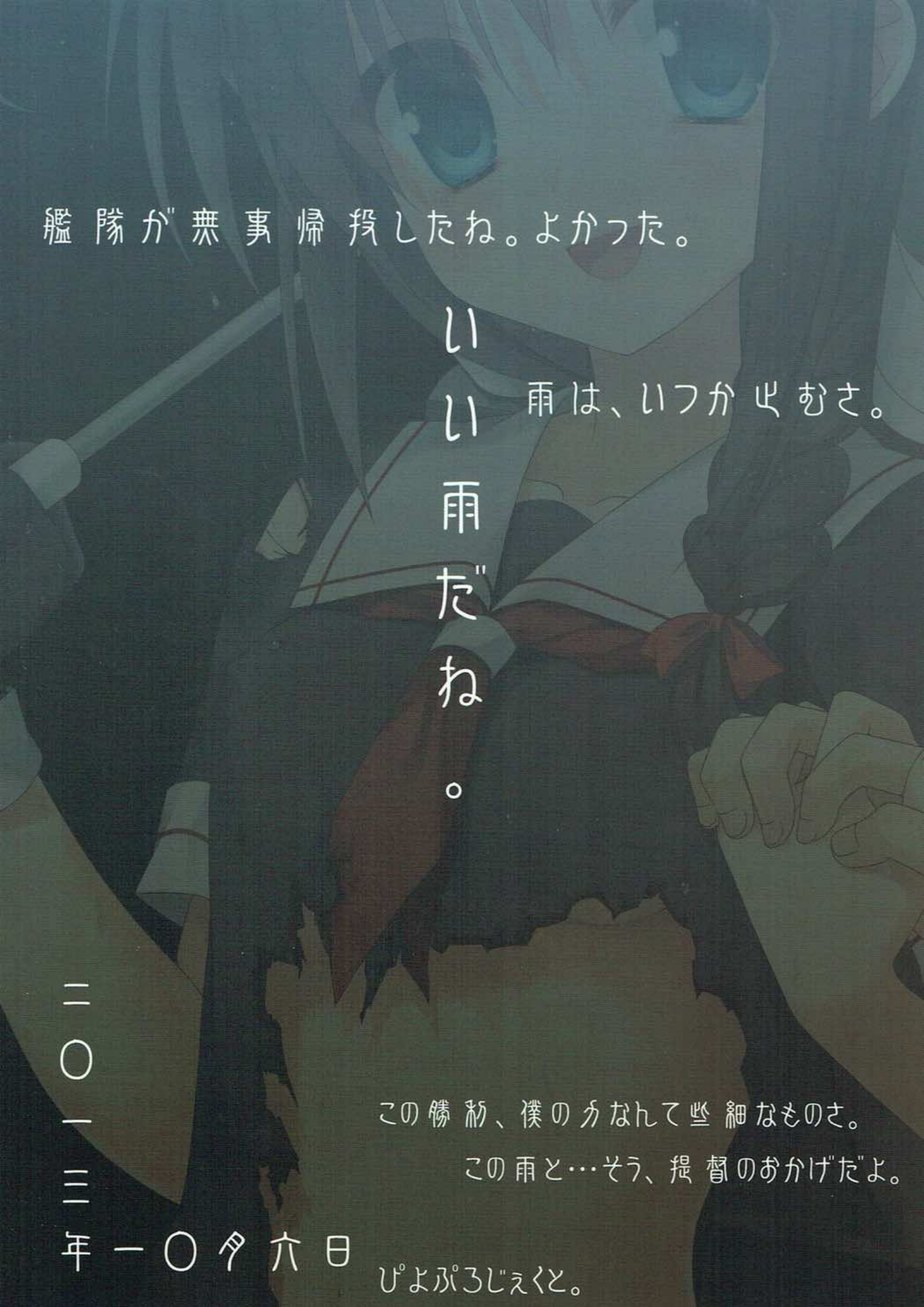
鈴音れなちゃん

西村艦隊クエに
満潮も入れて
あげて欲しいです…
最期までお読み頂き
有難うございました
時雨ちゃん本
また出したいです
冬コミ受かってたら
出すと思います。

オリョール海の
敵を撃滅せよ!
西村艦隊用

艦隊が無事帰投したね

良かった…



艦隊が無事帰投したね。よかった。

いい雨は、いつか止むさ。
いい雨だ
ね。
。

この勝利、僕の力なんて些細なものさ。

この雨と…そう、提督のおかげだよ。

二〇一三年
一〇月六日

ぴよぷろじえくと。